

日本郵船(株)会社説明会

証券コード

9101

2012年5月



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

本資料は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、業績予測や事業・製品の開発計画を含みます。当社は業績予測、事業計画の実現性について責任を負いません。実際の業績は、今後の市況の変動などを含むさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。事業計画については、市場での受け入れ、競合他社などを含む様々な要因により遅れが生じる、または実現できない可能性があります。



安定した『モノ運び』により
世界に貢献します。

2012年5月

代表取締役社長

工藤 泰三

「日本郵船」誕生の歴史

- 1885年創業 -



創業者
岩崎弥太郎
1835年誕生

弥太郎は土佐藩の命を受けて、
経理を担当。

1869
(明治2年)
「九十九商会」
誕生。弥太郎
は土佐藩側から
事業を監督

1872
「三川(みつ
かわ)商会」
に名称変更

1874
「三菱蒸気船会社」に
名称変更

1873
「三菱商会」に
名称変更

1871
(明治4年)
岩崎弥太郎が
経営に参画

1875
横浜-上海航路開設
「郵便汽船三菱会社」に
名称変更

1885
弥太郎が死去。
弟・弥之助が
後を継ぐ。
渋沢栄一らの
共同運輸と
合併し
「日本郵船」
に



1862
勝海舟の
弟子にな
る

1866
竜馬の幹
旋による
薩長同盟

1865
長崎で亀山社
中(後の海援
隊)を結成

1867
暗殺される

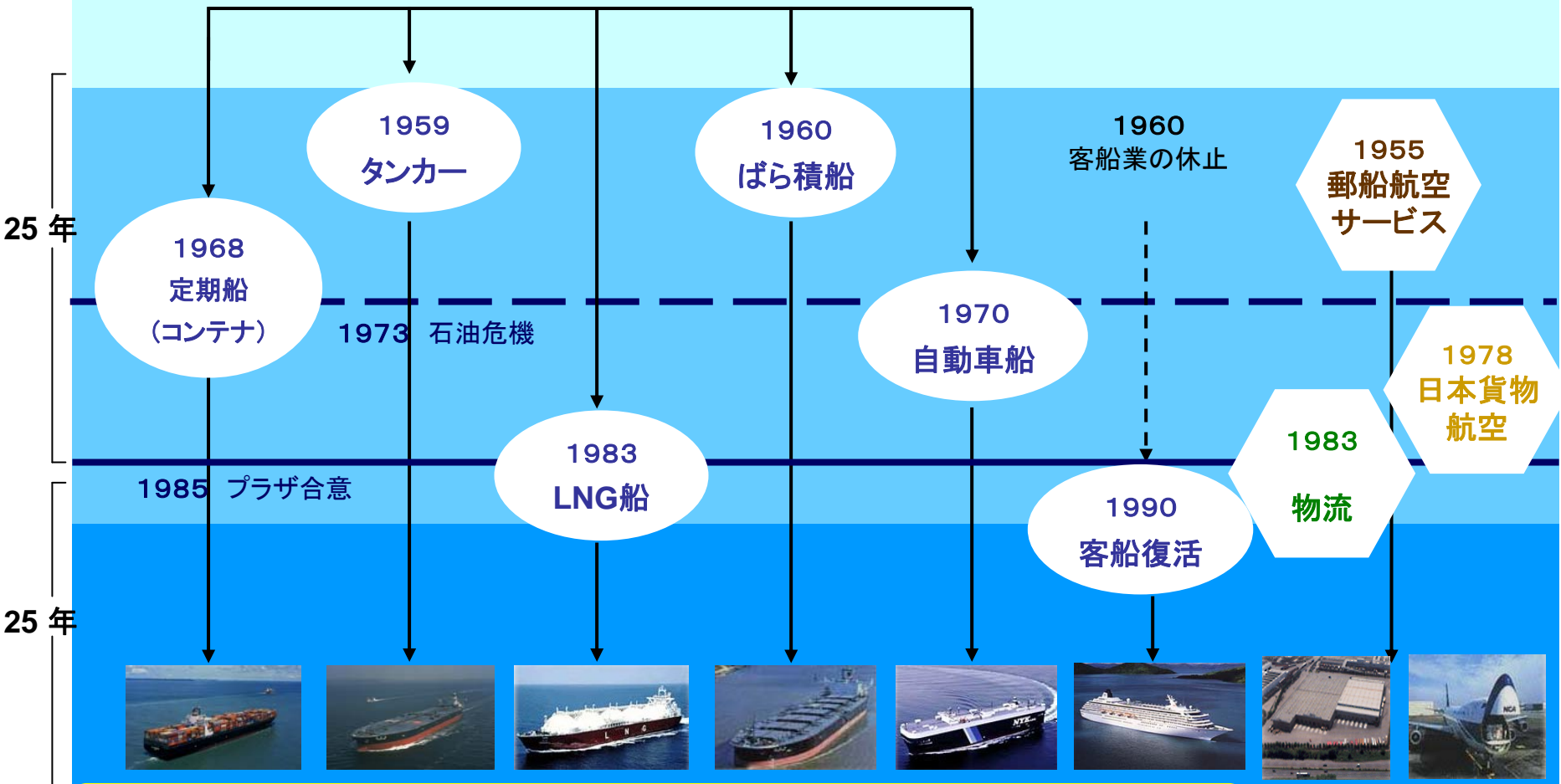


坂本竜馬
1836年誕生

ご参考 坂本竜馬の年表

“定期船”会社として、戦後1945年より再出発

- 1885年創業 -



海・陸・空の総合物流企業グループへ

当社の事業セグメント

一般貨物輸送事業

- ① 定期船事業
- ② ターミナル関連事業
- ③ 航空運送事業
- ④ 物流事業

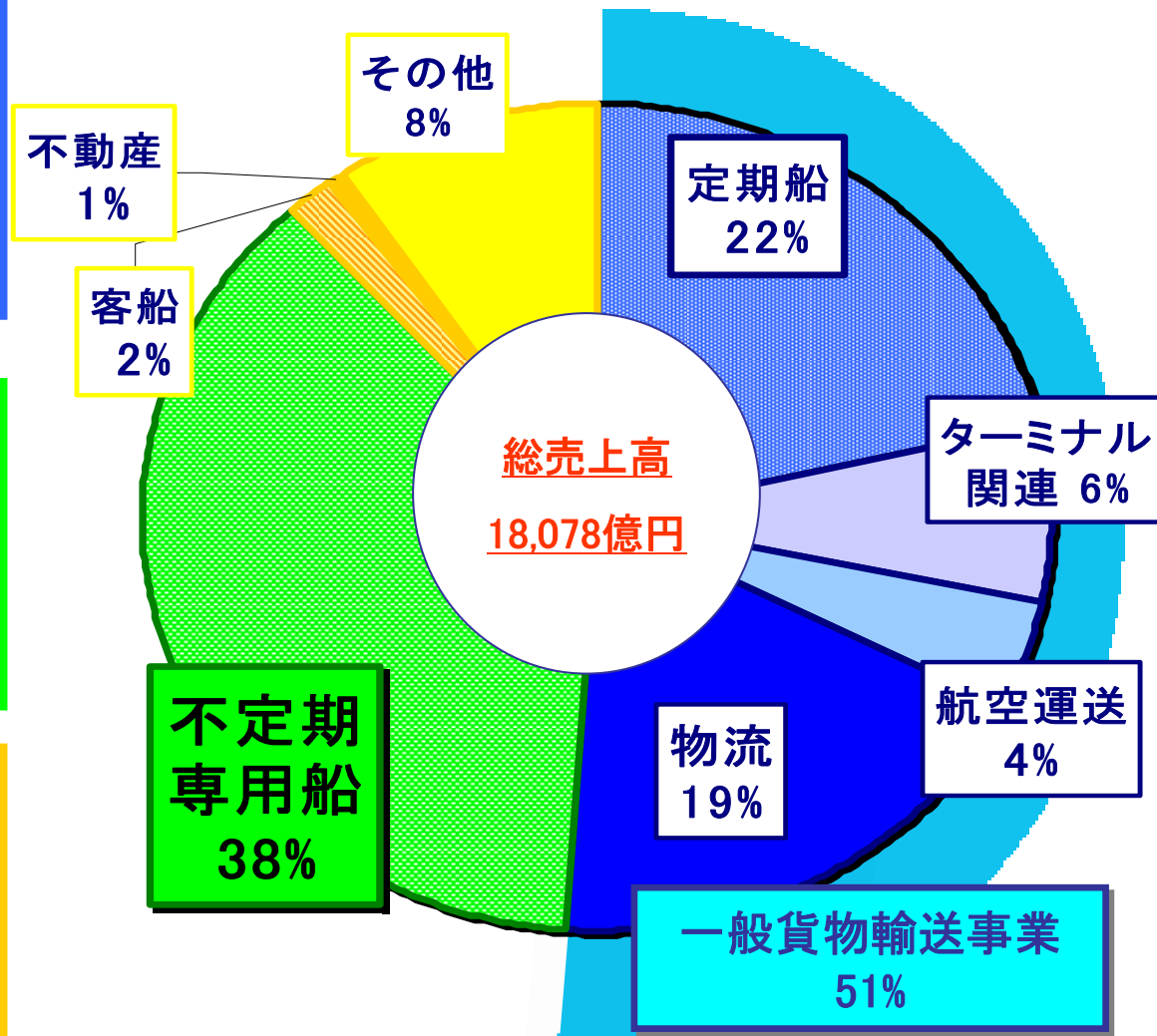
不定期専用船事業

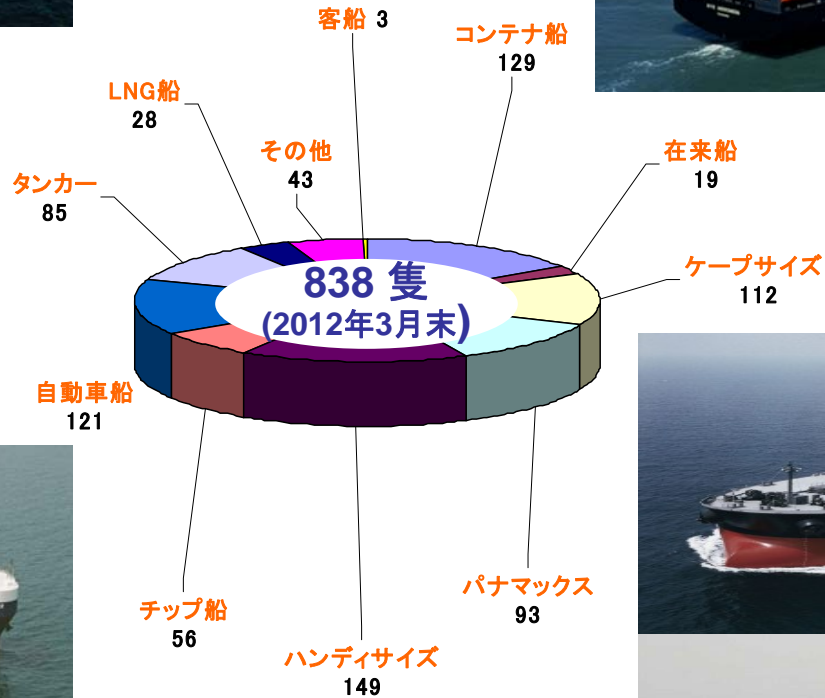
- ⑤ 不定期専用船事業
 - ・ 自動車船部門
 - ・ ドライバルカー部門
 - ・ タンカー部門

その他事業

- ⑥ 客船事業
- ⑦ 不動産業
- ⑧ その他の事業

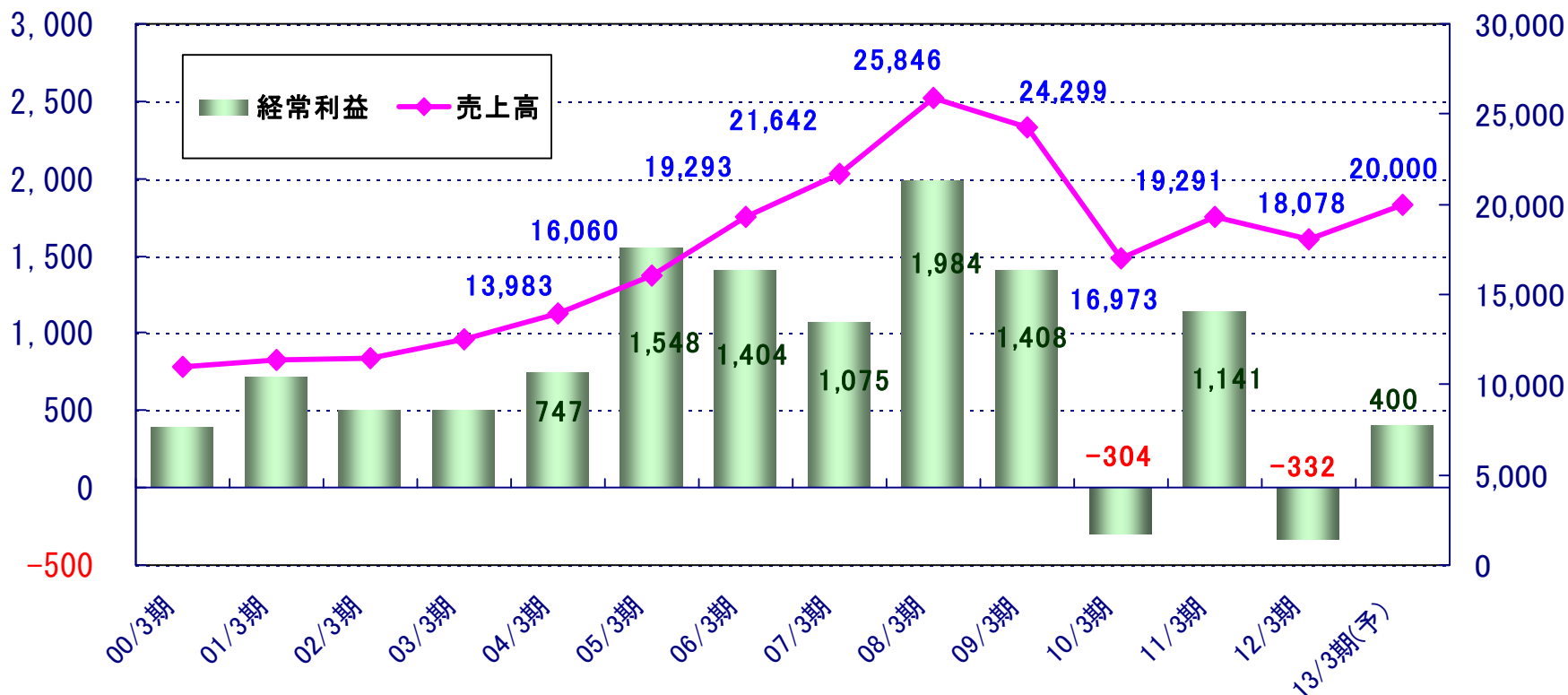
12/3期セグメント別売上高実績





経常利益(億円)

売上高(億円)



■ 運航隻数: 838隻 (12/3期末時点)

■ グループ従業員数: 28,498人 (国内外含む)

事業セグメント (億円)	11/3期 通期	12/3期(実績)							13/3期(予想)			
		1Q		2Q		上期	下期		通期	上期	下期	通期
		3Q	4Q									
一般貨物輸送事業	定期船	4,621 302	1,085 ▲ 86	1,121 ▲ 86	2,207 ▲ 173	994 ▲ 138	985 ▲ 136	1,980 ▲ 274	4,187 ▲ 447	2,300 ▲ 40	2,300 10	4,600 ▲ 30
	ターミナル	1,224 66	345 17	366 22	711 39	346 21	342 16	689 37	1,400 77	710 40	690 30	1,400 70
	航空運送	872 78	226 19	206 7	432 27	193 3	200 2	393 6	826 33	435 4	425 6	860 10
	物流	3,909 77	943 9	915 32	1,859 42	896 35	896 14	1,792 50	3,651 92	1,940 54	2,030 56	3,970 110
	(単純合計)	10,627 525	2,600 ▲ 39	2,609 ▲ 24	5,210 ▲ 63	2,430 ▲ 77	2,425 ▲ 102	4,855 ▲ 180	10,066 ▲ 243	5,385 58	5,445 102	10,830 160
不定期専用船	7,964 604	1,731 ▲ 54	1,846 ▲ 33	3,577 ▲ 88	1,819 ▲ 13	1,911 23	3,730 10	7,308 ▲ 77	3,950 85	4,050 115	8,000 200	
その他事業	客船	358 ▲ 26	71 ▲ 23	101 2	172 ▲ 21	72 ▲ 16	79 ▲ 19	151 ▲ 36	324 ▲ 58	207 9	193 ▲ 4	400 5
	不動産	114 43	26 10	26 10	53 21	26 9	28 8	55 17	108 39	53 20	52 17	105 37
	その他	1,635 ▲ 4	458 4	443 ▲ 4	901 0	438 0	505 7	944 7	1,845 8	950 ▲ 2	960 0	1,910 ▲ 2
消去・全社	▲ 1,408 0	▲ 410 0	▲ 393 0	▲ 804 0	▲ 388 0	▲ 382 0	▲ 771 0	▲ 1,575 0	▲ 595 0	▲ 650 0	▲ 1,245 0	
連結	19,291 1,141	4,477 ▲ 101	4,634 ▲ 49	9,111 ▲ 151	4,398 ▲ 97	4,567 ▲ 83	8,966 ▲ 181	18,078 ▲ 332	9,950 170	10,050 230	20,000 400	

※ (上段)売上高 (下段)経常損益 2012年4月27日発表値

	11/3	12/3	13/3予
為替(/\$)	¥86.04	¥78.90	¥80
燃料油(/MT)	\$483.87	\$666.22	\$730

◆定期船: 運賃修復及び航路再編によるコスト削減により、赤字幅大幅圧縮。

◆不定期専用船: VLCC・LNG船の償却負担軽減、不採算船処分による収支良化、海洋事業の好転、自動車船荷動きの回復。

◆経常利益(年間)に対する感応度: 為替1円の円高で約12億円の減益、燃料油\$1/MT価格上昇で約1.2億円の減益。

More Than Shipping 2013

～アジアの成長を世界へ繋ぐ～
(抜粋版)

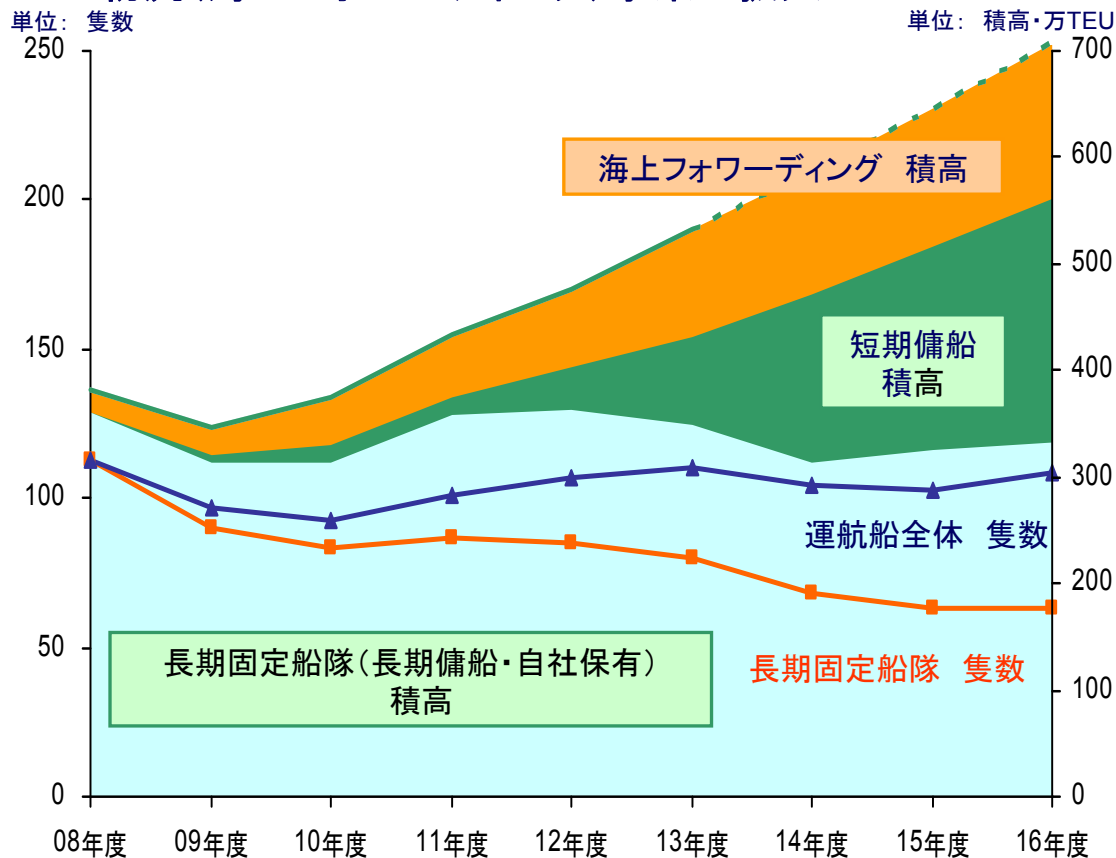
2011年3月31日発表



日本郵船

定期船・物流

コンテナ船のライトアセット化と
物流(海上フォワーディング)事業の拡大



バルク・エネルギー輸送

長期契約の獲得

	長期契約比率
ケープサイズ	80%
パナマックス	55%
チップ船	80%
原油タンカー	85%
LNG船	100%

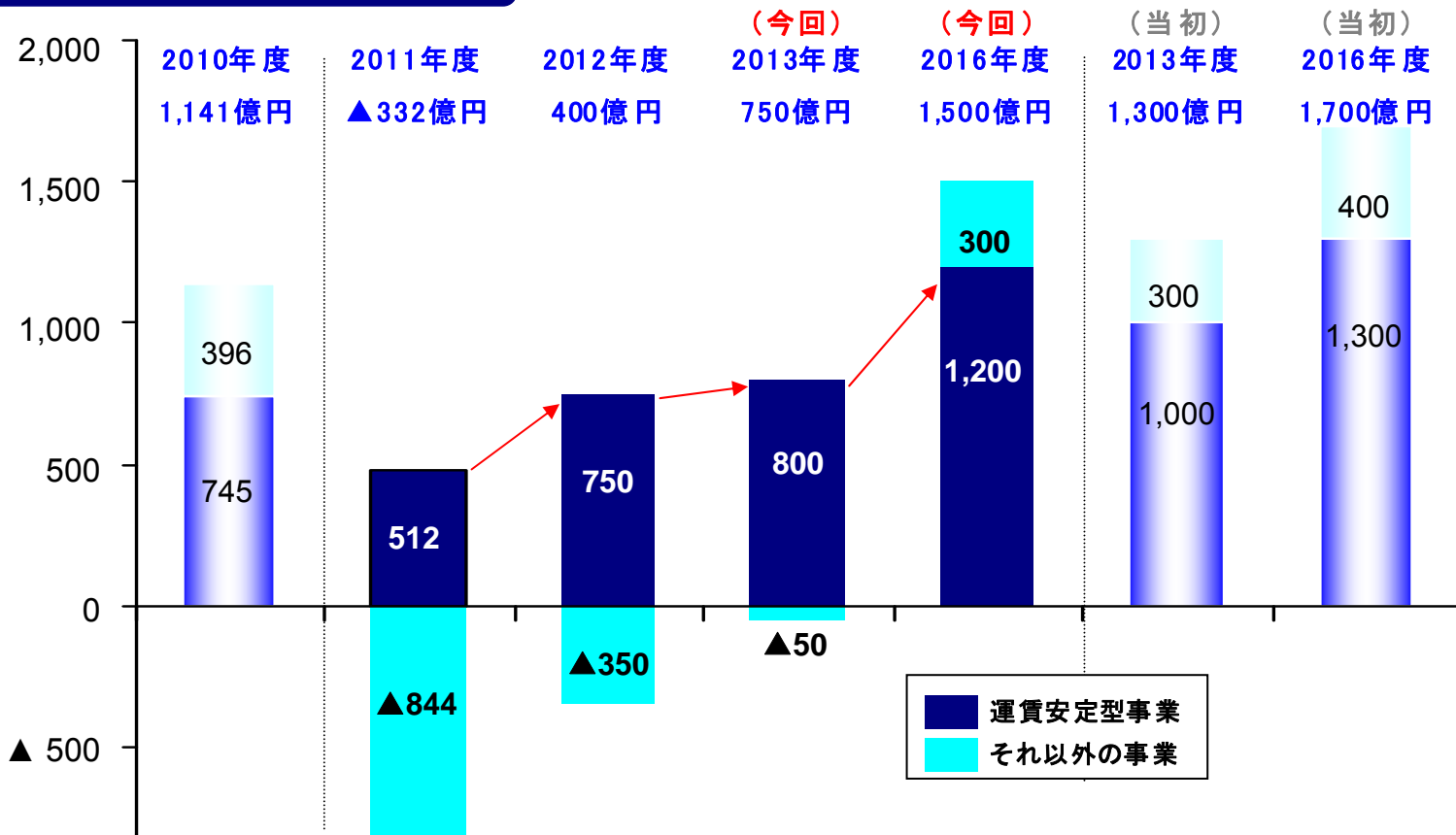
More Than Shipping: 従来の海運業の枠組にこだわらない

貨物	More Than Shipping (従来海運業 + α の戦略)	重点投資	重点地域
一般貨物	① 物流事業を活かして アジア域内・発着輸送に対応	物流	アジア
自動車	② 自動車物流・ターミナルを活かして アジアでの完成車輸送に対応	自動車船 自動車物流 自動車ターミナル	アジア
資源 エネルギー	③ 技術力を活かして より高度なエネルギー輸送に対応	LNG 海洋事業	アジア(含 豪州) 北欧(北海等) 南米(ブラジル等)
	④ 世界ネットワークを活かして 海外資源エネルギー輸送に対応	中小型バルカー	アジア 大西洋 南米(ブラジル等)

運賃安定型事業を着実に拡大

※運賃安定型事業: NYKの強みを活かせる物流・不定期専用船(除 短期・スポット)等

経常損益推移
(億円)



為替レート		86円	79円	80円	80円	80円	85円	85円
燃料油価格		\$484	\$666	\$730	\$730	\$730	\$650	\$650
定期船 (運賃)※	アジア→北米	104	100	115	115	115	105	105
	アジア→欧州	100	73	82	82	82	90	90
ハルク・エネルギー 輸送船	Cape (4TC)	\$26,895	\$15,347	\$17,000	\$25,000	\$30,000	\$30,000	\$30,000
	VLCC	\$33,918	\$18,705	\$22,500	\$30,000	\$40,000	\$50,000	\$50,000

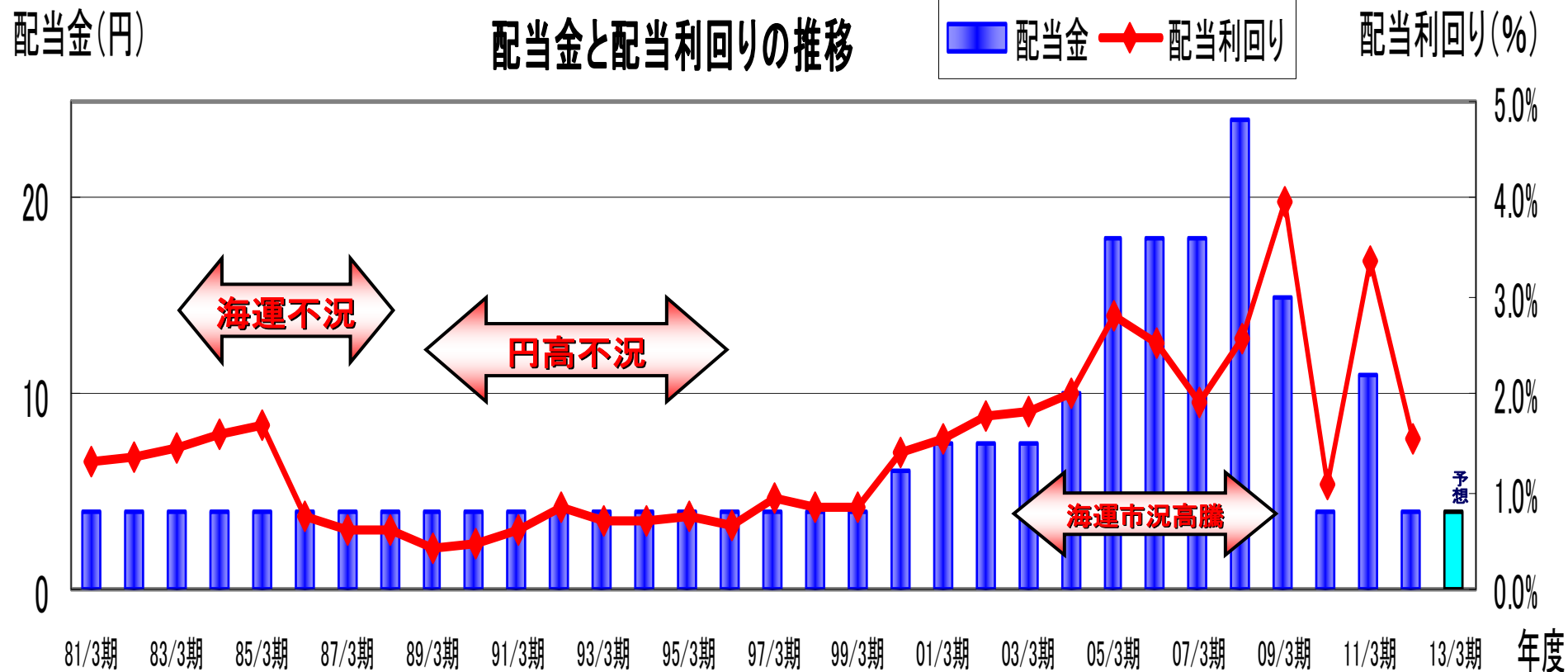
※指数表示 09/3期 1Q=100

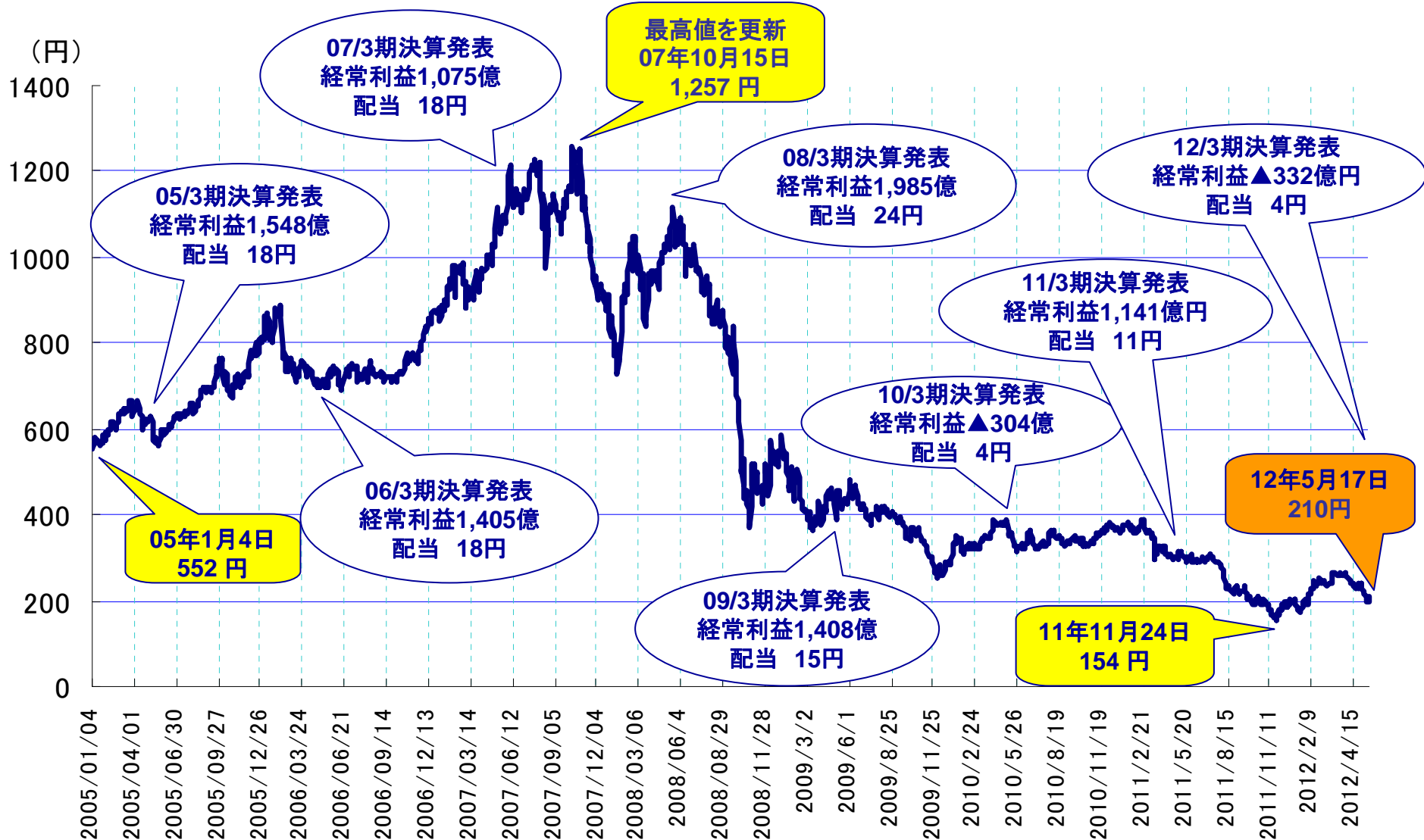
1) 基本政策

* 連結配当性向
25%を目安

2) 2013年3月期(予想)

* 中間配当金2円/株
期末配当金2円/株





決算期現在（毎年3月31日）、1,000株以上ご所有の株主様には
以下のご優待を用意しております。

株主優待：飛鳥クルーズ10%割引券

1,000株以上	5,000株未満	3枚
5,000株以上	10,000株未満	6枚
10,000株以上		10枚

* 注意事項 *

- ・ ご優待期間は毎年決算期後の7月1日より翌年7月31日までとなります。
- ・ ご利用対象は飛鳥クルーズのみになります。
- ・ 1クルーズにつき 1名様 1枚限り有効です。
- ・ 他の割引および早期申し込み割引等とは重複してご利用できません。
- ・ その他チャータークルーズなどご利用頂けないクルーズもございますので、詳しくはお問合せください。

(弊社HP優待情報:

http://www.nyk.com/ir/stock/dividend/index_investors.htm)





日本郵船歴史博物館 NYK MARITIME MUSEUM

お立ち寄りください **日本郵船氷川丸**

交通 日本郵船歴史博物館から徒歩16分。もしくは市営バスで「警察本部前」乗車、「山下公園前」下車

所在地 横浜市中区山下町山下公園地先 TEL 045-641-4362

開館時間 10:00～17:00（最終入館時刻 16:30）

入館料 日本郵船歴史博物館の半券をお持ちの方は、無料です。

休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、臨時休館日



日本郵船氷川丸
NYK HIKAWAMARU

ご利用案内

開館時間 10:00～17:00（最終入館時刻 16:30）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始、その他臨時休館日

入館料 一般・大学生 / 500円（300円）
シニア（70歳以上） / 300円（200円）
中学生・高校生 / 無料
学校行事の中学生・小学生以下 / 無料
障がい者（介護者1名含む） / 無料

※（ ）内は15名以上の団体料金
※ 障がい者手帳、年齢を証明するものが必要です。



所在地 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9
TEL 045-211-1923 FAX 045-211-1929
<http://www.nyk.com/rekishi/>

交通

- ◎地下鉄みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩2分 県警本部並び
- ◎JR根岸線「関内」駅北口 または市営地下鉄「関内」駅3番、4番出口から徒歩8分
- ◎団体バス用契約駐車場（予約制）有り

環境への取り組み ①

◆国際条約の遵守への取り組み

海運を取り巻く環境問題

- 国際物流の9割は海上輸送。国際海運は経済発展に不可欠
- 海運は最も環境にやさしい輸送モード
- 途上国からの物流の増加に伴い、国際海運が地球に与えるインパクトも大きくなる

当社の取り組み

- 革新的環境技術開発などに約1,000億円投資(6年間)
 - 海運に対する国際的環境政策討議をリード
 - ビジネスモデル変革への挑戦

各種国際条約への対応

- ◆温室効果ガス
- ◆NOx(窒素酸化物)
SOx(硫黄酸化物)
- ◆生物多様性→船舶へのバラスト水処理装置
- ◆船舶の解撤とリサイクル

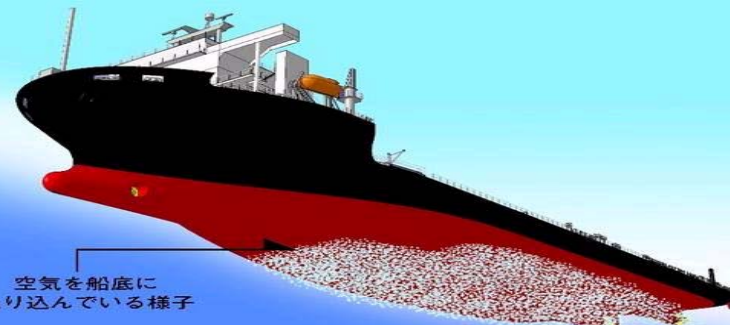
環境への取り組み ②

◆太陽電池を付けた 自動車運搬船

総発電量40キロワット・328枚の太陽光パネルを備えた自動車運搬船「アウリガ・リーダー」は、当社と新日本石油(株)殿との共同開発により、2008年12月19日竣工。



◆空気潤滑システムを利用した モジュール(重量物)船

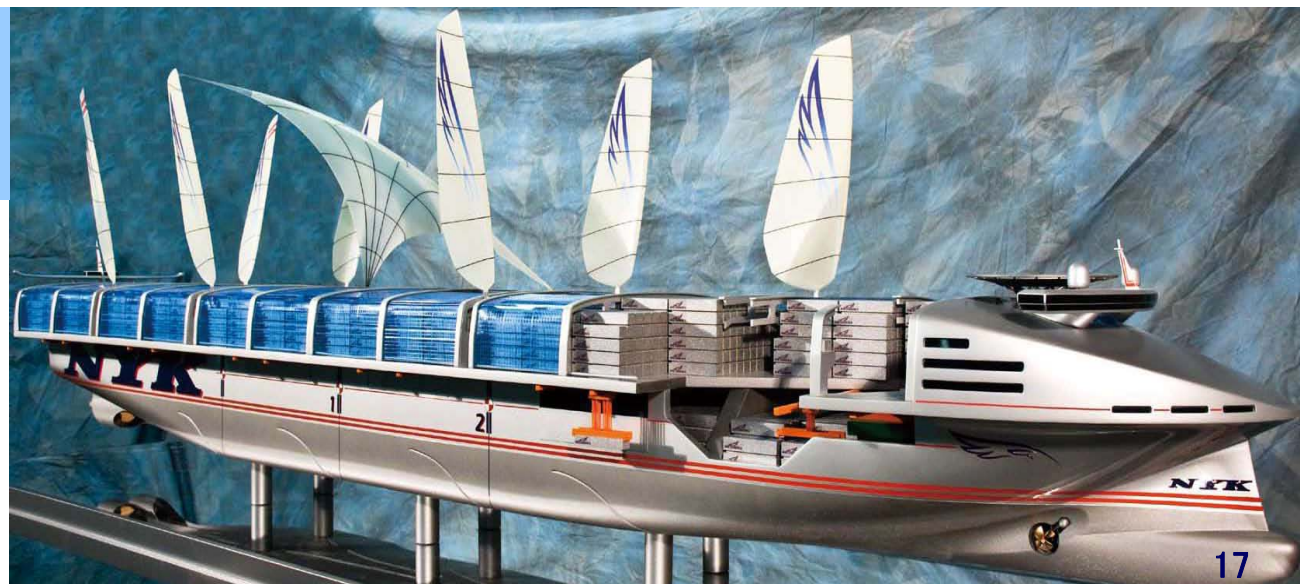


船底と海水との間に気泡を送り込み、推進の妨げとなる摩擦抵抗を軽減する。期待される省エネ効果は10%程度。「YAMATAI」は2010年3月竣工。

◆未来船

NYK Super Eco Ship
2030

2030年 コンテナ船
全長 : 353メートル
速力 : 25ノット



参考資料

一般貨物輸送事業



世界34拠点でコンテナターミナルを展開



物流事業再編として、日本郵船(株)傘下のNYK Logistics各社と旧郵船航空サービス(株)は2010年10月より事業統合を開始し、郵船ロジスティクス(株)としてグループ全体で世界トップレベルの規模とサービス品質提供を目指します。

フルコンテナ船運航船腹ランキング

順位	会社名	国	2011年末現在			
			隻数	キャパシティ (千TEU)	キャパシティ シェア	キャパシティ 前年比 増減率
1	Maersk Line	デンマーク	587	2,347	15%	16%
2	MSC	スイス	394	1,918	13%	10%
3	CMA-CGM	フランス	331	1,251	8%	7%
4	COSCO	中国	143	630	4%	19%
5	Hapag-Lloyd	ドイツ	138	624	4%	7%
6	Evergreen	台湾	158	585	4%	-4%
7	APL	シンガポール	126	550	4%	-4%
8	China Shipping Container Lines (CSCL)	中国	126	520	3%	21%
9	Hanjin Shipping	韓国	90	448	3%	-5%
10	商船三井	日本	100	442	3%	11%
11	Hamburg-Sud	ドイツ	105	389	3%	9%
12	日本郵船	日本	94	388	3%	4%
13	CSAV	チリ	87	359	2%	-37%
14	Orient Overseas Container Line (OOCL)	香港	78	347	2%	-3%
15	川崎汽船	日本	75	325	2%	-1%
16	Zim Integrated Shipping Services	イスラエル	91	322	2%	5%
17	Yang Ming	台湾	78	318	2%	0%
18	Hyundai Merchant Marine (HMM)	韓国	52	274	2%	-6%
19	Pacific International Lines	シンガポール	125	252	2%	0%
20	UASC	中東湾岸6カ国	53	228	1%	5%
	上位20社	計	3,031	12,515	82%	5%
	その他		2,025	2,804	18%	28%
	合計		5,056	15,319	100%	9%

出典：MDS, Fairplay, 各種報道より日本郵船調査グループにて集計

自動車船部門

世界的に需要の強い日本車(含む海外生産車)のみならず、**自動車専用船船隊ランキング**
海外メーカーの完成車やその他車両を多数輸送。



- 一船で最大6,500台の完成車を積載
- 熟練ドライバーによる高品質・効率的な荷役を提供

会社名	2012年1月1日現在			
	隻数	シェア	台数 (千台)	シェア
1 日本郵船	110	17.2%	62,435	17.8%
2 商船三井	90	14.1%	52,051	14.8%
3 川崎汽船	74	11.6%	38,282	10.9%
4 EUKOR	73	11.4%	46,120	13.1%
5 Wallenius Wilhelmsen Line	56	8.8%	37,736	10.7%
6 GRIMALDI (NAPLES)	44	6.9%	17,667	5.0%
7 HAL	40	6.3%	24,582	7.0%
8 HYUNDAI GLOVIS	34	5.3%	16,783	4.8%
9 CSAV	12	1.9%	5,893	1.7%
10 N.M.C.C.	12	1.9%	5,771	1.6%
11 UECC	8	1.3%	2,938	0.8%
12 A.R.C	7	1.1%	4,027	1.1%
13 SALLAUM LINES	7	1.1%	2,992	0.9%
14 TOYOFUJI	6	0.9%	3,456	1.0%
その他	66	10.3%	30,323	8.6%
合計	639		351,056	

出典: Hesnes Shipping As "The Car Carrier Marekt 2011"
キャパシティ2,000台以上の自動車船のみを対象

ドライバルカー部門

(ばら積み貨物船)



パナマ運河を通行できず、喜望峰(ケープ岬)周りで航行する大型のばら積み貨物船。当社では載貨重量トンが12万トン以上の船を言う。現在全長300M、30万トンを超える船もある。主な積荷は鉄鉱石。

パナマ運河を満載状態で通行可能な最大船型という意味でパナマックスと称しており、船幅はパナマ通行可能な最大幅の32.2M。当社では載貨重量トン6万トン以上12万トン未満のばら積み船を指す。主な積荷は原料用・燃料用の石炭。



荷物の積み降ろしをする為のクレーンを船に搭載しており、陸上で積み降ろし設備がなくても荷役可能。当社では載貨重量トン6万トン以下のばら積み船をいう。喫水などの制限のある港にも入港可能で汎用性に富み、小回りが利き手頃なので「ハンディ」という名称。積荷は穀物やセメント、木材、ニッケル、非鉄鉱石、パルプなどのマイナーバルクで多岐にわたる。



タンカー一部門



海洋事業へ進出し、 エネルギーチェーンの上流から下流までカバー

ドリルシップ



FPSO: Floating, Production, Storage and Offloading unit. 海底油田・ガス田から原油やガスを生産・貯蔵し、直接輸送船へ積み出す浮体式設備

LNG-FPSO



探鉱・探掘権の取得

探査・探鉱

試掘

商業採算性の評価

生産設備の建造・設置

シャトルタンカー: FPSO等から相対位置を一定に保ったまま石油を積み込み、陸上にある石油精製・貯蔵基地までシャトル輸送するタンカー

シャトルタンカー



FPSO



FSRU: Floating, Storage and Regasification unit.

輸送されたLNGを消費地近くの沖合で受け入れ、気化してから消費地へ送る浮体式設備

FSRU



販売

物流

貯油・精製

輸送

生産・貯蔵

ケミカルタンカー/プロダクトタンカー



原油タンカー/LNGタンカー/LPGタンカー



バルク・エネルギー船隊ランキング

ドライバルカー

(2012年1月1日現在)			
	会社名	重量トン (千DWT)	隻数
1	COSCO Group	24,804	333
2	日本郵船	18,435	203
3	川崎汽船	15,391	134
4	商船三井	15,170	159
5	China Shipping Group	8,445	169
6	Zodiac Maritime Agy.	6,246	43
7	Vale	6,236	25
8	Angelicooussis Group	6,105	35
9	Enterprises Shpg.	6,037	61
10	Hanjin Shpg Co.	5,869	41

出典: Clarkson's Bulkcarrier Register 2012

タンカー

(2012年1月1日現在)			
	会社名	重量トン (千DWT)	隻数
1	Fredriksen Group	15,915	69
2	商船三井	15,339	106
3	Teekay Corporation	11,491	95
4	日本郵船	11,445	61
5	SCF Group	11,185	125
6	NIOC	10,667	45
7	MISC	8,988	84
8	Overseas Shipholding	8,471	64
9	Angelicooussis Group	8,405	36
10	Dynacom Tankers Mngt	7,768	49
11	A.P.Moller	7,662	96
12	China Shipping Group	7,235	79
13	Ocean Tankers Pte	6,461	68
14	Euronav N.V.	6,005	28
15	Sinotrans & CSC	5,981	50
16	Tsakos Group	5,588	49
17	COSCO Group	5,416	37
18	Nat. Shpg of S.Arabia	5,256	17
19	General Maritime	5,213	33
20	BW Ltd.	5,172	28

出典: Clarkson's Tanker Register 2012

LNG船保有隻数

出典: 日本郵船集計

LNG船は複数の会社による共有が多く、隻数については共有持分の割合に関わらず、1隻として数えています。キャパシティについては、1隻に対する共有持分の割合に応じて按分計算しています。

注)

上記数値は各調査機関集計の値で、また所有船ベースの数値であるため、当社が集計する運航隻数は傭船も含めた数字であり、また調査時点の違い等集計方法に違いがあります。

会社名	(2012年3月期中完工分まで)		
	隻数	保有 キャパシティ (千M3)	キャパシティ シェア(%)
日本郵船	66	3,634	6.8
商船三井	70	3,716	7
川崎汽船	43	1,517	2.9
その他日本船主	79	2,472	4.6
韓国船主	21	2,772	5.2
Project / メジャー	133	12,968	24.4
MISC	29	3,647	6.9
Bergesen Worldwide	14	1,396	2.6
Exmar	8	696	1.3
Teekay Shipping	21	2,052	3.9
Golar	9	1,105	2.1
QGTC	50	8,133	15.3
その他の海外船主	89	9,063	17
合計	632	53,173	100

“飛鳥 II”



飛鳥 II 船舶概要

全長・全幅	241M x 29.6M
総トン数	50,142GT
定員一人当たりトン数	67.5T
喫水	7.8M
航海速力	最高 21ノット
横揺れ防止装置	フィンスタビライザー
客室/乗客数	436室/800名
乗組員数	約470名
船籍港	横浜

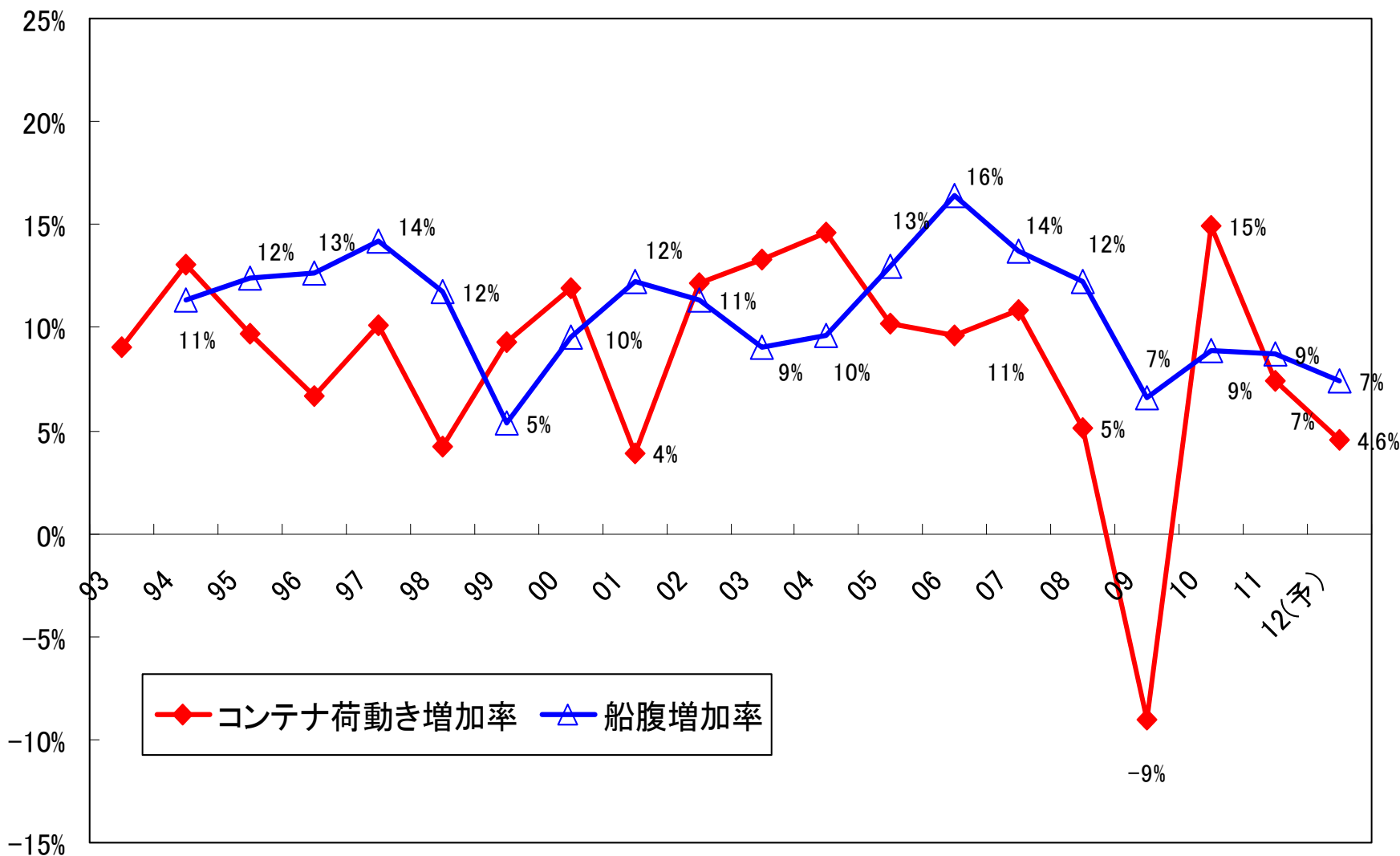


飛鳥 II クルーズスケジュール

2012世界一周クルーズ
夏の神戸・博多・瀬戸内海クルーズ
博多発 日南花火クルーズ
夏の北海道クルーズ

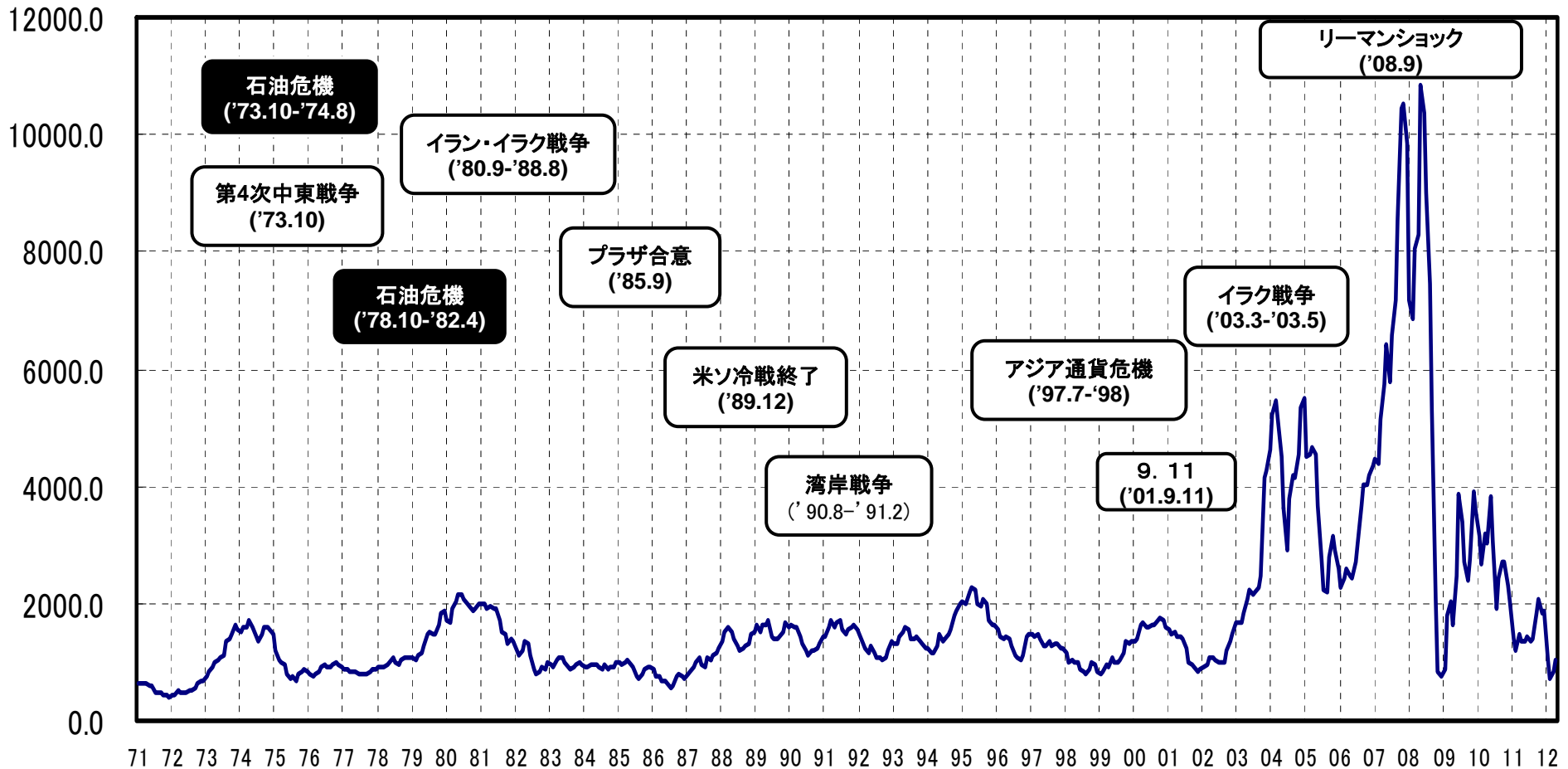
サマークルーズ
竿燈・ねぶた祭クルーズ
阿波おどり・伊東花火クルーズ
鳥羽・熊野大花火クルーズ
HULA ON ASUKA II ~ハイビスカス~
HULA ON ASUKA II ~プルメリア~

2012年4月2日(月)~7月8日(日) 横浜・神戸発着
2012年7月9日(月)~7月11日(水) 神戸発、博多着
2012年7月20日(金)~7月22日(日) 博多発、神戸着
2012年7月22日(日)~8月1日(水) 神戸・名古屋・横浜・室蘭・小樽発、
釧路・室蘭・横浜着
2012年8月1日(水)~8月3日(金) 横浜発着
2012年8月3日(金)~8月9日(木) 横浜発着
2012年8月9日(木)~8月16日(木) 横浜・徳島発着
2012年8月16日(木)~8月19日(日) 横浜発着
2012年8月20日(月)~8月22日(水) 横浜発着
2012年8月22日(水)~8月24日(金) 横浜発着

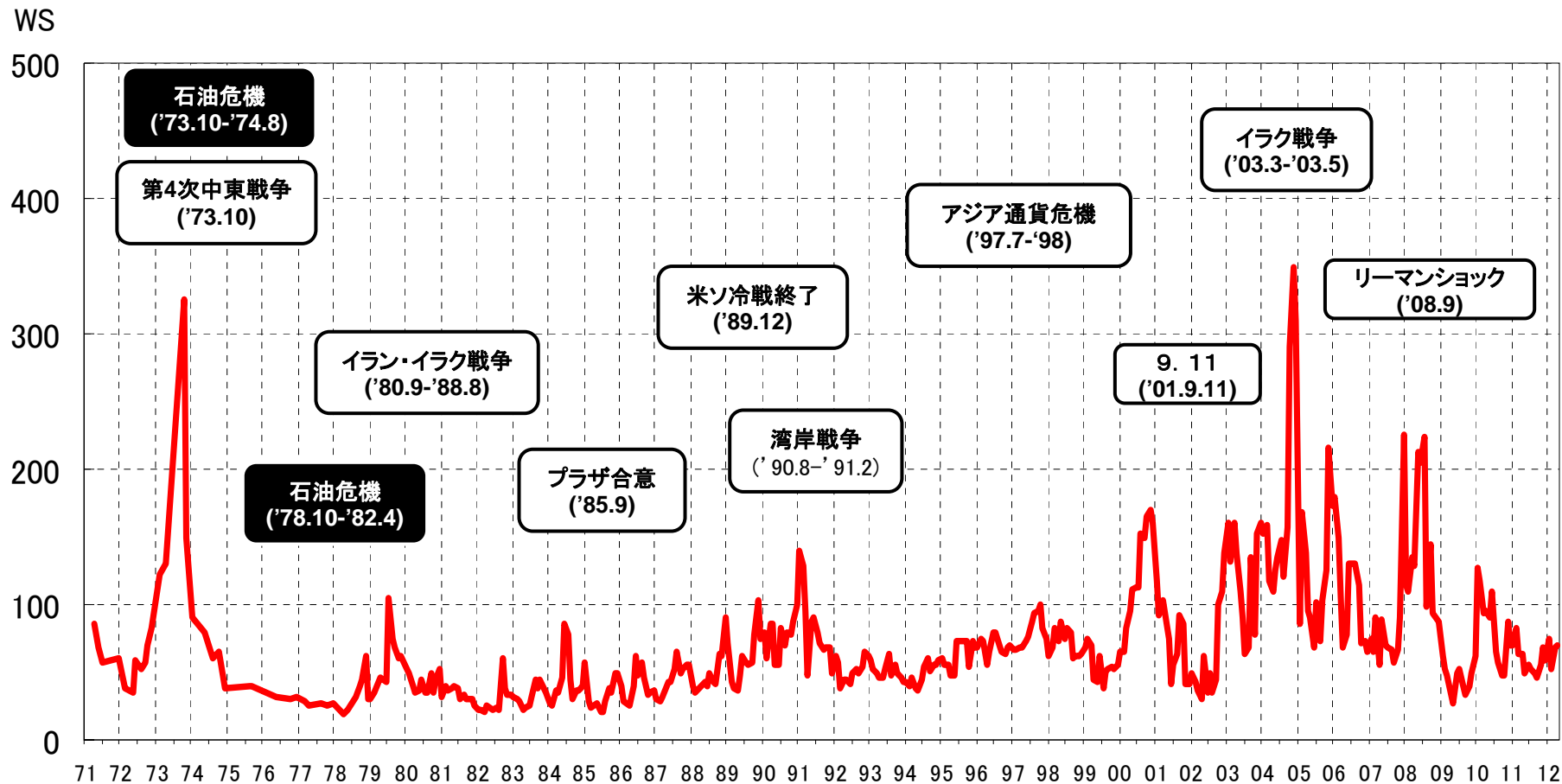


出典: Drewry 2011, 日本郵船調査グループ

BDIなど



BDI: Baltic Dry Indexの略称。ばら積船の運賃指標



WS: World Scaleの略称。原油タンカーの運賃指標

基本理念

わたくしたちは、海・陸・空にまたがるグローバルな総合物流企業グループとして、安全・確実な「モノ運び」を通じ、人々の生活を支えます。

経営方針

●お客様とともに

お客様から選ばれ信頼されるパートナーであり続けるために、現場第一に徹し、創意工夫に努め、新たな価値の創造を追求します。

●社会とともに

良き企業市民として積極的に社会の課題に取り組み、環境の保全をはじめとして、より良い地球社会の実現に貢献します。

●株主・投資家の皆様とともに

公正かつ透明な経営を実践し、効率的な事業活動を通じて、企業価値の増大を目指します。

●グループ社員とともに

グローバル企業として、社員の多様性と挑戦する気概を尊重し、人材育成に力を注ぎ、夢と誇りを持って働ける日本郵船グループを目指します。

NYKグループバリュー

日本郵船グループ企業理念を実現していく際の心構え

誠意 ・ 創意 ・ 熱意

Integrity

Innovation

Intensity